

輸出事業計画

※申請者名：新田みどり農業協同組合、品目：やまといも

1. 輸出における現状と課題

- 【現状】
- 当地区は、利根川沿岸の肥沃で水はけのよい土壌が広がり、全国有数のやまといもの産地である。収穫後は保冷库に貯蔵されるため通年出荷が可能であり、注文に合わせ商品作りができ、さらに真空パックでの出荷となるため輸向きの品目といえる。
 - 将来的な人口減少による国内需要の低下が危惧される中、生産者は地区のやまといもの栽培を存続させるために新たな販路の確保が必要であると考えており、海外販路を選択肢の一つと捉えている。
 - 卸売業者からの呼びかけにより輸出に取り組み始め、令和元年からシンガポールやマレーシアへ輸出を行ってきたが、令和4年2月に群馬県農畜産物等輸出推進機構主催の香港現地PR販売にて、香港バイヤーからの取扱いの要望があったことから、今後は香港を主要な輸出先とする。
 - 香港では、滋養強壮や薬膳食品としてながいもの需要が高い。やまといもは、ながいものと比べ粘度が強く、風味が豊かな特徴があるが、香港ではこうした違いが認識されていないため、お好み焼きなど粘りを活かした食べ方提案が必要である。
 - 船便による長期間の輸送となるため、真空パックに脱酸素剤を同封し、鮮度保持を図っている。
 - 香港では、群馬県産青果物について放射性物質検査証明書を求めるなど、同じ日本産でも特定の産地に対し別途輸入規制を設けている。
- 【課題】
- 輸出向け商品は国内向けに比べ、洗浄（泥落とし）や脱酸素剤同封に手間が掛かる。現在の輸出の出荷は時期が不定期かつ数量も不安定であるため、輸出向けに対して新たに賛同して頂ける生産者の増員は厳しい状況にある。
 - 船便輸出時の鮮度保持及びロス低減のため、脱酸素剤を同封した真空パックを行っているが、流通の段階において折れや傷み、パックの破損などが数%程度発生する。このため更なるロス率低減を図る必要がある。
 - 市場流通を介した輸出も検討しているが、この場合は、国内向け規格・梱包となるため脱酸素剤のパック同封ができず、品質保持に課題が残る。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 輸出货量安定化に向け、原材料を確保するためには輸出向け特定生産者の同意（価格・出荷形態の面）が必要であるため、今後もより一層県や全農と連携し、特定生産者を交えた会議を開き持続可能な輸出出荷方法を検討していきたい。また、現在やまといもの真空パッキングには、三方シールと呼ばれる資材を使用しているが、今後は、生産者の労力削減や商品の本来の味を伝えるために、三方シールに代わりPプラスと呼ばれる資材を導入し、品質改善に向けて試験的な取組を行っている。
- 量販店や消費者がやまといもを取り扱いやすいよう、1本当たり200gとなるようカットし、統一の規格で出荷することで、香港量販店での販売拡大を目指す。
- 輸出を継続することによって消費者に認知度拡大を図り、やまといも本来の味を現地にて定着させ、定期的な（平準化）取引へと繋げて行きたい。
- 販売拡大にはロス率低減が重要である。品質保持にはパッキング技術の向上が必要である。定期的な注文により、生産者が香港向けの出荷規格に対応したパッキング技術を向上することでロス率低減を図りたい。

年度	R2年度				R3年度				R4年度				R5年度				R6年度				R7年度				R8年度				R9年度					
四半期	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4		
生産																																		
取組拡大（出荷者増加）									説明会				説明会				説明会																	
輸出規格設定					打合せ 試作				見直し 試作				規格決定																					
流通・販売																																		
新規市場開拓					商談 試作販売				商談				定着				定着				定着				定着				定着					
現地PR販売					PR販売				PR販売				PR販売				PR販売				PR販売				PR販売				PR販売					
バイヤー招へい	招へい				招へい				招へい				招へい				招へい				招へい				招へい				招へい					
輸出先国	マレーシア、シンガポール				マレーシア、シンガポール、香港				香港				香港				香港				香港				香港				香港					
輸出目標金額（万円）	125				125				140				155				170				175				180				185					

輸出事業計画

※申請者名：新田みどり農業協同組合、品目：やまといも

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

輸出計画の策定

前シーズンの取組の検証・改善結果を踏まえ、輸出計画を適宜見直し（輸出先国、輸出量、規格、時期、等）

やまといも輸出

輸出計画に基づき、輸出事業者等と連携し、輸出販売を実施

テスト販売

県農畜産物輸出推進機構等の事業を活用し、新たな販路開拓等を図る

高品質やまといも生産

現地ニーズに合わせた生産（規格、こん包、農薬、等）

県農業事務所、全農ぐんま 等

検証・評価

売上状況、現地評価（品質、味、鮮度等）、ニーズ把握、検疫対応

全農ぐんま、卸売業者、輸出入業者、現地卸・販売店、県、県農畜産物等輸出推進機構

改善

検証・評価結果に基づき、改善点を見直す（品質、規格・荷姿、出荷時期、等）

4. 輸出目標額

輸出の現状及び目標は以下の表のとおり。目標達成に向け、これまで構築してきた商流を拡大（輸出量、額）するとともに、群馬県農畜産物等輸出推進機構等と連携し、新たな販路開拓を行う。

やまといも輸出	現状（令和2年）	目標（令和9年）
輸出額	1,250千円	1,875千円
輸出量	2トン	4トン
輸出先国	シンガポール、マレーシア	香港